

広域連携支援事業効果調書

補助事業者名	「市民の森&石坂の森」魅力アップ事業
事業名	「市民の森&石坂の森」魅力創造・発信事業
補助年度	平成 26 年度
1 事業内容	<p>平成 25 年度に両市町の協議で 2 つの森を共同整備することについて合意し、平成 26 年度に実施することとなった事業である。</p> <p>現在は、「市民の森」と「石坂の森」の全体共通の案内板や掲示板がないため、散策ルートや森で見られる貴重な動植物などの見どころを記した統一感のある案内板や掲示板を設置するとともに、パンフレットを作成・配布し、地域住民や観光客の興味・関心を喚起し、より多くの方に足を運んでもらうことで、新たな「比企の魅力」を伝えていく。</p> <p>また、整備後に、2 つの森を中心としたウォーキング事業を両市町の共催で実施する。</p> <p>そして、2 つの森を一体的な観光スポットとして地域内外に広くアピールし、知名度やイメージのアップを図るとともに、貴重な動植物への認識を深め、地域のみんなで愛着をもって森の保全や活用に広げていく。</p>
2 背景、目的 必要性	<p>鳩山町の「石坂の森」と東松山市の「市民の森」は、行政境に位置した一体的な森で、その面積は合わせて 72 ヘクタールに及んでいる。</p> <p>これまでは両市町が個々にみどりの保全・活用を行ってきたため、一体的な整備・活用ができていなかった。</p> <p>しかし、もともと 2 つの森は一体性があり、訪れる人には隔たりがない。</p> <p>そこで、2 つの森の一体的な整備等を行ない、比企地域の新しい観光スポットとして広く PR し、「比企」のイメージアップを図っていく必要がある。</p>
3 連携により もたらされる効果	<p>2 つの森は、もともと一体性があることから、訪れた人たちが、共通した案内板やパンフレットを活用することによって、より隔たりなく、また迷うことなく行き来することでき、活動範囲が広がり、来訪者の増加が大きく期待できる。</p> <p>また、両市町の共通情報として発信ができることから、広告力がアップし、観光スポットとしての認知度が高まる。</p> <p>また、森で保全等の活動をしている人たち同士のコミュニケーションの形成にも期待できる。</p>
4 今後の事業展開	<p>今回の 2 つの森の整備・活用をきっかけとして、両市町がさらに協力・連携を深め、他の観光スポットの整備・開発など、比企地域をさらに PR していく。</p>
達成目標	①目 標
	<p>ウォーキング事業参加者へ 2 つの森に対するアンケート調査を行ない、満足度等を調査する。</p> <p>目標満足度：70%以上</p>

	②設定理由	<p>今回の主な事業は、案内板等の設置とパンフレット作成による共通整備であり、目標となる指標設定は困難である。</p> <p>そこで、森の整備後に実施するウォーキング事業参加者の満足度を知り得ることで、今後の取り組みに活かすことができるため。</p>
5	その他	<p>本事業は、効率性の観点から、「共通物品の設置に係る自治体間協定」に基づいて、東松山市が鳩山町へ負担金を支出し、鳩山町が実施するものである。</p>